



【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：観光協会補助金額				指標の求め方：観光協会補助金額										
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)		指標名：市全体の観光入込客数				指標の求め方：北海道観光入込客数調査における市全体の年間観光入込客数										
活動指標 2		指標名：				指標の求め方：										
成果指標 2		指標名：砂川ハイウェイオアシス館以外の観光入込客数				指標の求め方：北海道観光入込客数調査における市全体の年間観光入込客数のうち砂川ハイウェイオアシス館以外の年間観光入込客数 (内数)										
指標	活動指標 1 (単位/円)	計画値	9,471,000	9,471,000	9,471,000		9,471,000	9,471,000	9,471,000		9,471,000	9,471,000	9,471,000	9,471,000		
		実績値	9,471,000	9,471,000	9,411,000		9,471,000	9,471,000	9,991,000		10,397,000	9,162,000	10,717,000	6,874,000		
	成果指標 1 (単位/人)	計画値	1,890,000	1,899,000	1,901,000		1,917,200	1,926,000	1,934,800		1,943,600	1,952,400	1,959,000	1,970,000		
		実績値	1,436,300	1,375,000	1,367,300		1,362,000	1,234,337	1,209,300		1,412,700	1,622,640	1,625,230	879,245		
	活動指標 2 (単位/人)	計画値														
		実績値														
成果指標 2 (単位/人)	計画値	566,000	568,900	571,600		574,300	577,000	579,600		582,200	584,800	587,400	590,000			
	実績値	450,900	461,000	423,300		469,287	395,698	405,600		390,800	516,348	540,751	402,384			
事業	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている				達成されている					達成されている	
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					あまり上がっていない				上がっていない					変わらない	
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					あまり上がっていない				上がっていない					変わらない	
	総合評価					問題がある				問題がある					普通である	
	評価内容	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：補助金は計画通り執行されている。一方、市全体の観光入込客数及びハイウェイオアシス館以外の観光入込客数共に減少が見られる。いずれも震災の影響によるものと考えられる。	自己分析：補助金は計画通り執行されている一方、入込客数については減少している。	自己分析：補助金は観光協会側で一部補助事業の廃止があったことから減額されている。入込客数については減少している。	判断理由：補助金は計画通り執行されている一方、入込客数には反映されていないことから、問題があると判断した。	自己分析：補助金は予定通り執行されている。入込客数については減少している一方、オアシス館を除く入込客数は増加している。	自己分析：補助金は予定通り執行されている。大型バスの料金値上げがあり、大型バスツアーが減少し、入込客数については全体的に減少している。	自己分析：補助金は予定通り執行されている。ハイウェイオアシス館において大型バスツアーが減少し、入込客数については全体的に減少している。	判断理由：補助金は計画通り執行されている一方、入込客数には反映されていないことから、問題があると判断した。	自己分析：補助金は予定通り執行されている。ハイウェイオアシス館がリニューアルし、直産市場や新しいレストランがオープンしたことに入込客数については増加した。	自己分析：観光協会において補助金を効果的に活用し各種イベントの充実が図られているほか、リニューアルしたホームページのアクセス件数や市内における入込客数も昨年に比べ増加しており、効果的な支援が行われているものと判断される。	自己分析：観光協会において補助金を効果的に活用し、事務所運営や各団体への支援、ホームページによる効果的な情報発信が行われたほか、新規の自主事業として「マラニック」を開催し賑わいを得たことも観光入込客数の増加につながったものと判断された。	自己分析：新型コロナウイルスの影響により、各団体による事業が相次いで中止となり、観光協会経由で支出している補助金が未執行となった。また、不要不急の外出・往來の自粛などの感染拡大防止措置により、市全体及びまちなか回遊を行う観光客が大幅に減少した。	判断理由：補助金を活用したイベントの充実と、ホームページを改良した事によるPR効果によって、昨年に比べ観光入込客数が増加したが、計画値に届いていない状況から普通と判断した。	
今後の方向性						手段の見直し				手段の見直し					現状のまま継続	
方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)		H25：観光協会については、その出自からもイベントへの補助金支出にウェイトが置かれており、観光PR等本来の観光事業にあまりウェイトが置かれていなかった経過がある。しかし、協会内部からも観光PR等の事業にも積極的に参画するべきだという意見も出ており、少しずつではあるがそういった活動への参加も見られる。今後は事業内容を必要に応じて検討しつつ、より効果的な観光事業の遂行に努めるべく支援を行いたい。				H28：観光協会については、その出自からもイベントへの補助金支出にウェイトが置かれており、観光PR等本来の観光事業にあまりウェイトが置かれていなかった経過があるが、ここ数年は観光PR等にも少しずつではあるが力を入れており、H28年度は、観光協会HPを改修し、情報発信の強化を図る。今後は事業内容を必要に応じて検討しつつ、より効果的な観光事業の遂行に努めるべく支援を行いたい。				H30：観光協会の活動については、イベントの充実とともに、ホームページの改修による観光PRが効果的に行われていることにより、観光入込客数の増加につながっている。観光振興の中核的存在として、事務局体制強化が図られるよう観光協会への補助を継続するとともに、効果的な事業展開に向け連携を図っていく必要がある。						



【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：納涼花火大会補助金額	指標の求め方：納涼花火大会補助金額
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：市全体の観光入込客数	指標の求め方：北海道観光入込客数調査における市全体の年間観光入込客数

指標	活動指標 1 (単位/円)	計画値	203,000	203,000	203,000		203,000	203,000	203,000		203,000	203,000	203,000	203,000	
		実績値	203,000	1,000,000	100,000		1,000,000	1,000,000	1,000,000		1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	
成果指標 1 (単位/人)	計画値	1,890,000	1,899,000	1,901,000		1,917,200	1,926,000	1,934,800		1,943,600	1,952,400	1,959,000	1,970,000		
	実績値	1,436,300	1,375,000	1,367,300		1,362,000	1,234,337	1,209,300		1,412,700	1,622,640	1,625,230	879,245		
事業 評価 内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている				達成されている					達成されている
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					上がっていない				上がっていない					変わらない
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					少し上がっている				少し上がっている					少し上がっている
	総合評価					良好である				良好である					良好である
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 補助金は計画通り執行されている一方、市全体の観光入込客数は減少している。しかし、納涼花火大会及び同日開催されているラブリバー砂川夏まつりについては、入込数が毎年2万人を数え、砂川の名物イベントとして定着していることから、本事業は継続の必要があると考えられる。	自己分析： 補助金は計画通り執行されている一方、市全体の観光入込客数は減少している。しかし、納涼花火大会及び同日開催されているラブリバー砂川夏まつりについては、入込数が毎年2万人を数え、砂川の名物イベントとして定着していることから、本事業は継続の必要があると考えられる。	自己分析： 補助金は計画通り執行されている一方、市全体の観光入込客数は減少している。しかし、納涼花火大会及び同日開催されているラブリバー砂川夏まつりについては、入込数が毎年2万人を数え、砂川の名物イベントとして定着していることから、本事業は継続の必要があると考えられる。	判断理由： 補助金は計画通り執行されているが、市内の観光入込客数に反映されていない一方、ラブリバー砂川夏まつりについては砂川の名物イベントとして定着していることから、良好であると判断した。	自己分析： 補助金は計画通り執行されている一方、市全体の観光入込客数は減少している。しかし、納涼花火大会及び同日開催されているラブリバー砂川夏まつりについては、入込数が毎年2万人を数え、砂川の名物イベントとして定着していることから、本事業は継続の必要があると考えられる。	自己分析： 補助金は計画通り執行されている一方、市全体の観光入込客数は減少している。しかし、納涼花火大会及び同日開催されているラブリバー砂川夏まつりについては、入込数が毎年2万人を数え、砂川の名物イベントとして定着していることから、本事業は継続の必要があると考えられる。	自己分析： 補助金は計画通り執行されている一方、市全体の観光入込客数は減少している。しかし、納涼花火大会及び同日開催されているラブリバー砂川夏まつりについては、入込数が毎年2万人を数え、砂川の名物イベントとして定着していることから、本事業は継続の必要があると考えられる。	自己分析： 補助金は計画通り執行されている一方、市全体の観光入込客数は減少している。しかし、納涼花火大会及び同日開催されているラブリバー砂川夏まつりについては、入込数が毎年2万人を数え、砂川の名物イベントとして定着していることから、本事業は継続の必要があると考えられる。	判断理由： 補助金は計画通り執行されているが、市内の観光入込客数に反映されていない一方、ラブリバー砂川夏まつりについては砂川の名物イベントとして定着していることから、良好であると判断した。	自己分析： 補助金は計画通り執行されている一方、市全体の観光入込客数は増加した。納涼花火大会及び同日開催されているラブリバー砂川夏まつりについては、入込数が毎年2万人を数え、砂川の名物イベントとして定着している。しかし、前年度と同額の補助を行い、例年と同規模の花火大会が開催された事で、同日開催の「ラブリバー砂川夏まつり」と合わせ、2万人ほどの集客があった。砂川の夏のイベントとして定着しており、引き続き、事業の充実を図っていくべきと判断される。	自己分析： 前年度と同額の補助を行い、例年と同規模の花火大会が開催された事で、同日開催の「ラブリバー砂川夏まつり」と合わせ、2万人ほどの集客があった。砂川の夏のイベントとして定着しており、引き続き、事業の充実を図っていくべきと判断される。	自己分析： 商工会議所において補助金を効果的に活用し、前年と同規模の花火の打ち上げが行われたことで、同日開催の「ラブリバー砂川夏まつり」の賑わいはもとより、街全体の観光振興につながったものと判断される。	自己分析： 新型コロナウイルスの影響により、第50回の記念事業として実施予定であった納涼花火大会が中止されたことにも、不要不急の外出・往來の自粛などの感染拡大防止措置により、「ハイウェイオアシス館」や「子ども国」を中心とした観光入込客数が大幅に減少した。	判断理由： 補助金を計画通りに執行し、同規模の花火大会が実施される事で、砂川の夏のイベントとして定着している。毎年2万人ほどの集客がある事から、総合評価は良好であると判断した。
今後の方向性					現状のまま継続					現状のまま継続					現状のまま継続
方向性の判断理由改善、改革の内容(H25、H28、H30)	H25： 納涼花火大会は砂川の夏の名物イベントとして定着しており、市民へ楽しさを与える他、市外からの訪問客の誘致にもつながっており、市内の経済効果にもつながることから、現状のまま継続することが必要と考える。				H28： 納涼花火大会は砂川の夏の名物イベントとして定着しており、市民へ楽しさを与える他、市外からの訪問客の誘致にもつながっており、市内の経済効果にもつながることから、現状のまま継続することが必要と考える。				H30： 納涼花火大会は、同日開催の「ラブリバー砂川夏まつり」と合わせ、砂川の夏のイベントとして定着しており、毎年、市内外から2万人ほどの誘客が見込まれる事業である事から、現状のまま継続する必要がある。						

# 第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

## 【PLAN】

### 事務事業の目的と成果

事業名	ふるさと名物を活用した観光振興事業				事業期間	平成 29 年度 ~ 年度					所管課係	商工労働観光課観光係
	新規・継続	新規	建設・建設外	建設外	第6期総合計画の位置付け	5-5-1	他に関連する基本事業	-	-	-		
目的 (何のために実施するのか)	平成27年12月に「すながわスイーツ」で道内第1号のふるさと名物応援宣言を行い、お菓子の街として観光PRを行ってきたが、観光入込客数は年々減少している。そこで、官民協働で砂川市の魅力再発見や地域の課題の分析調査を行い、砂川市の観光コンセプトを策定し、事業を実施、検証しながら効果的なプロモーションを実施し、すながわスイーツのブランド力向上を図るとともに、道内外観光客やインバウンドの受け入れ体制の整備や農商工連携による新商品の開発などを総合的に推進することで経済効果を高め、観光振興を図る。				手段 (どのような方法で実現するのか)	官民協働で砂川市の魅力再発見や地域の課題の分析調査を行い、砂川市の観光コンセプトを策定し、事業を実施、検証しながら効果的なプロモーションを実施し、すながわスイーツのブランド力向上を図るとともに、観光客の受け入れ体制の整備や農商工連携による新商品の開発などを行う。						
対象 (誰・何を対象としているのか)	スイートロード協議会、砂川観光協会、観光客				成果 (どのような効果が得られるのか)	観光入込客数の増。						
事業開始時の状況・これまでの経緯（行革内容含む）	砂川市では、平成14年5月に「すながわスイートロード協議会」を設立、平成27年12月に「すながわスイーツ」で道内第1号のふるさと名物応援宣言を行い、お菓子の街として観光PRを行ってきた。しかし、観光客をいかに取り込むかが課題となっている。そこで、官民協働で、砂川市の魅力再発見や地域の課題の分析調査を行い、砂川市の観光コンセプトを策定し、事業を実施、検証しながら、効果的なプロモーションを実施し、砂川スイーツのブランド力向上を図るとともに、観光客の受入態勢の整備や農商工連携による新商品の開発等を総合的に推進することで経済効果を高め観光振興を図るため本事業を実施する。											

## 【DO】

### 実績

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期総合計画			
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計		
投入された事業費の推移	国費	計画額			0				0	5,972,000	4,905,000	4,664,000	0	15,541,000	15,541,000		
		予算計上額			0				0	5,972,000	4,994,000	4,753,000	0	15,719,000	15,719,000		
		実績額			0				0	5,117,612	4,997,954	5,123,167	0	15,238,733	15,238,733		
	道費	計画額			0				0					0	0	0	
		予算計上額			0				0					0	0	0	
		実績額			0				0					0	0	0	
	地方債	計画額			0				0					0	0	0	
		予算計上額			0				0					0	0	0	
		実績額			0				0					0	0	0	
	その他	計画額			0				0					0	0	0	
		予算計上額			0				0					0	0	0	
		実績額			0				0					0	0	0	
一般財源	計画額			0				0	5,972,000	4,905,000	4,664,000	5,178,000	20,719,000	20,719,000			
	予算計上額			0				0	5,972,000	6,210,000	5,563,000	6,784,000	24,529,000	24,529,000			
	実績額			0				0	7,139,458	6,111,025	5,126,082	4,535,441	22,912,006	22,912,006			
事業費合計	計画額	0	0	0	0	0	0	0	11,944,000	9,810,000	9,328,000	5,178,000	36,260,000	36,260,000			
	予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	11,944,000	11,204,000	10,316,000	6,784,000	40,248,000	40,248,000			
	実績額	0	0	0	0	12,257,070	11,108,979	10,249,249	4,535,441	12,257,070	11,108,979	10,249,249	38,150,739	38,150,739			
事業費予算の内容	報償：400,000円、旅費241,000円、需用費：3,387,000円、役員費：4,683,000円、委託料：346,000円、原材料費：100,000円、備品購入費：1,687,000円、負担金補助及び交付金1,100,000円								報償：840,000円、旅費391,000円、需用費：660,000円、役員費：6,791,000円、委託料：524,000円、原材料費：70,000円、備品購入費：478,000円、負担金補助及び交付金1,450,000円					報償：345,000円、旅費200,000円、需用費：1,494,000円、役員費：6,742,000円、委託料：55,000円、原材料費：30,000円、負担金補助及び交付金1,450,000円	報償：590,000円、旅費80,000円、需用費：1,106,000円、役員費：4,158,000円、負担金補助及び交付金850,000円		
前年度予算との比較 (増減理由)										前年度の各種事業の実績・到達度を踏まえ減額	事業内容の変更に伴う減額	補助事業終了による事業内容の変更に伴う減額					
	実績との比較 (増減理由)									事業内容の変更に伴う増	事業内容の変更に伴う減	事業内容の変更に伴う減	新型コロナウイルスの影響による事業未実施に伴う減				

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名：外国人宿泊率	指標の求め方：外国人宿泊率
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名：観光入込客数	指標の求め方：観光入込客数

指標	活動指標 1 (単位/%)	計画値	実績値	成果指標 1 (単位/人)	計画値	実績値	10	15	20	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)	事業の成果 (成果指標をもとに評価)	事業の効率性 (事業費に対する成果)	総合評価
指標							1	1	1				
							1,264,000	1,304,000	1,342,000				
指標							1,412,700	1,622,640	1,625,230	879,245			
事業評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)												あまり達成されていない
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)												少し上がっている
	事業の効率性 (事業費に対する成果)												少し上がっている
	総合評価												普通である
	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：
今後の方向性													現状のまま継続
方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：				H28：				H30：				
									「すながわスイーツ」を活かした街づくりにおいて、効果的な事業を行うとともに、観光パンフレット、ホームページ、観光PRブースへの出店、テレビ、ラジオ、雑誌、各種SNSなど様々な手法を用いて積極的なPR活動を行い、砂川市のイメージアップと知名度の向上を図る事で、外国人を含む観光入込客数の増加につながっているものであり、引き続き、内容の精査を行った中で観光事業の促進を図っていく必要がある。				

第 6 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

事業名	観光客誘致環境整備事業				事業期間	平成 23 年度 ～ 年度						所管課係	商工労働観光課観光係	
事業性質区分	新規・継続	新規	建設・建設外	建設外	第6期総合計画の位置付け	5-5-2	他に関連する基本事業	-	-	-	-	-	-	
目的 (何のために実施するのか)	オアシスパークならではの眺望の良さを活用して新たなバスツアー等を誘致することにより、地域の特性を生かした観光振興を図る。						手段 (どのような方法で実現するのか)		自然体験型観光としてサイクリング用自転車を市民の寄贈により取得し、オアシスパーク来訪者に貸与する。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	オアシスパーク来訪者。						成果 (どのような効果が得られるのか)		観光資源の魅力を掘り起こすことにより観光客等の市内滞在時間の延長が図られ、観光入込客数の増加とまちなか活性化に寄与する。					
事業開始時の状況・これまでの経緯 (行事内容含む)	砂川オアシスパークの眺望の良さを活かし、観光客誘致促進を目的とし遊水地周辺を無料レンタル自転車で回遊する事業として、平成23年度から実施。													

【DO】

実績

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第6期総合計画		
		第1年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)		実施4カ年 合計	
投入 され た 事業 費 の 推 移	国費	計画額			0				0					0	0	
		予算計上額			0				0					0	0	
		実績額			0				0					0	0	
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
一般財源	計画額	1,708,000			1,708,000	0	0	0	0	71,000	71,000	71,000	71,000	284,000	1,992,000	
	予算計上額	1,708,000	9,000	0	1,717,000	71,000	71,000	71,000	213,000	71,000	71,000	71,000	71,000	284,000	2,214,000	
	実績額	964,425	9,000	71,000	1,044,425	0	62,835	32,400	95,235	0	28,877	0	58,069	86,946	1,226,606	
事業費合計	計画額	1,708,000	0	0	1,708,000	0	0	0	0	71,000	71,000	71,000	71,000	284,000	1,992,000	
	予算計上額	1,708,000	9,000	0	1,717,000	71,000	71,000	71,000	213,000	71,000	71,000	71,000	71,000	284,000	2,214,000	
	実績額	964,425	9,000	71,000	1,044,425	0	62,835	32,400	95,235	0	28,877	0	58,069	86,946	1,226,606	
事業費予算の内容	自転車用車庫購入費		ヘルメット購入費 9,000円	修繕料71,000円		修繕料71,000円	修繕料71,000円	修繕料71,000円		修繕料71,000円	修繕料71,000円	修繕料71,000円	修繕料71,000円			
	前年度予算との比較 (増減理由)	H23新規事業	ヘルメット購入費 9,000円増			同額	同額	同額		同額	同額	同額	同額			
	実績との比較 (増減理由)	自転車購入をせず、中古自転車 で事業を実施した為	同額	自転車の修繕を行 ったため		修繕が必要 なかったため	当初予算より、 修繕が減少した ことによる	当初予算より、 修繕が減少した ことによる		修繕が必要 なかったため	当初予算に比 べ、修繕が少額 であったため	修繕が必要 なかったため	当初予算に比 べ、修繕が少額 であったため			

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)		指標名：サイクリング用自転車貸出件数				指標の求め方：サイクリング用自転車貸出件数				成果指標 1 (「成果」をもとに設定)				指標名：市全体の観光客入込客数				指標の求め方：北海道観光入込客数調査における市全体の年間観光入込客数			
指標	活動指標 1 (単位/件)	計画値	50	200	200		200	200	200		200	200	200	200		200	200	200	200		
		実績値	51	206	158		173	265	297		337	172	197	52							
成果指標 1 (単位/件)	計画値	1,890,000	1,899,000	1,901,000		1,917,200	1,926,000	1,934,800		1,943,600	1,952,400	1,959,000	1,970,000								
	実績値	1,436,300	1,375,000	1,367,300		1,362,000	1,234,337	1,209,300		1,412,700	1,622,640	1,625,230	879,245								
事業評価	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている				達成されている									ほぼ達成されている		
	事業の成果 (成果指標をもとに評価)					あまり上がっていない				あまり上がっていない									変わらない		
	事業の効率性 (事業費に対する成果)					上がっている				上がっている									変わらない		
	総合評価					普通である				良好である									普通である		
	総合評価の判断理由	自己分析：貸出数は概ね計画通りであった。一方、ツアーの誘致数については、平成23年度まで実施していた新聞社主催のツアーが中止されたことから、計画値には至っていない。計画値については平成23年度は年度途中実施であり、24年度以降は1年度実施を前提とした計画値である。	自己分析：貸出件数については計画より増が見られる。一方、観光客の入込客数については計画より減少が見られる。	自己分析：貸出件数、観光客の入込客数共に計画値より減少が見られる。	判断理由：貸出件数は計画値を達成していない一方、利用者からはよい反応が見られることから普通であると判断した。	自己分析：貸出件数、観光客の入込客数共に計画値より減少が見られる一方、貸出件数は計画値より増加している。	自己分析：観光客の入込客数は計画値より減少が見られる一方、貸出件数は計画値より増加している。	自己分析：観光客の入込客数は計画値より減少が見られる一方、貸出件数は計画値より増加している。	判断理由：貸出件数は計画値を達成しており、利用者からもよい反応が見られることから良好であると判断した。	自己分析：観光客の入込客数は前年度より増加しており、貸出件数も計画値より増加している。	自己分析：サイクリング用自転車の貸出件数が計画値を下回り、シーズン開始前の点検（TS保険加入）によって安全な状態で貸出しが行われた。また、効果的な観光PRを行ったことで、利用件数は前年度より若干増え、観光入込客数の増加につながったものと判断される。	自己分析：サイクリング用自転車は全部で14台配置しており、来5月から行っていた観光自転車の貸出しが8月からとなったため、利用実績が大幅に減少した。また、不要不急の外泊・往來の自粛などの対策により、「ハイウェイオアシス館」や「子どもの国」を中心とした観光入込客数が大幅に減少した。	判断理由：観光入込客数は前年度実績に比べ増加したところであり、観光の利便性としての役割は一定程度果たしているものと判断したが、積極的な貸出事業のPRにより、オアシスパーク周辺の賑わいの創出を促す必要があると考えられる。								
今後の方向性				現状のまま継続				現状のまま継続					現状のまま継続					現状のまま継続			
方向性の判断理由改善、改革の内容 (H25、H28、H30)	H25：本事業は市民から提供を受けた自転車を活用しており、低コストであること、その一方利用実績が良く、利用者からも好評を得ていることから、継続していきたいと考えているが、中古自転車であり、長期的な利用に不安材料もあることから、今後事業を継続するにあたり、自転車の確保について検討の必要があると考えられる。				H28：本事業は市民から提供を受けた自転車を活用していることから低コストであり、利用実績も良く、利用者からも好評を得ていることから、継続していきたいと考えているが、中古自転車であり、長期的な利用に不安材料もあることから、今後事業を継続するにあたり、自転車の確保について検討の必要があると考えられる。				H30：本事業は、低コストで観光客の利便性が図られるため、利用者からも好評を得ており、積極的にPRを行い利用を促進する事でオアシスパーク周辺の賑わいの創出につながると判断されることから、引き続き、利用実態の把握を行った中で、観光客のニーズに対応した取り組みとなるよう検討を行っていく必要がある。												